

が がく 雅楽とオーケストラを比べてみよう

1. 雅楽で使われる楽器

教科書 79 ページの写真は、雅楽のなかでも、楽器だけで合奏する「管絃（管弦）」と呼ばれる種類のものの、演奏の様子です。

写真手前から、打ち物（たいこの仲間）、ひき物（ことなど、弦をはじく楽器）、ふき物（笛の仲間）の順に並んでいます。

弦楽器や管楽器、打楽器が使われる大きな合奏であるオーケストラと少し似ていますね。



あれ？ 雅楽も何人もの人がいっしょに演奏する合奏なのに、指揮者がいませんね！
演奏する人たちはどうやって音を合わせているのでしょうか。

その秘密は、使われている楽器の役割にあるのかもしれません。それぞれの楽器について調べてみましょう。

★打ち物

しょうこ 鉦鼓… かね 青銅でできた鉦です。お皿のような形の鉦の、へこんでいる側を2本のばちで打ちます。

つりだいこ 釣太鼓… 2本のばちで太鼓の片面を打ちます。

かつこ 鞆鼓… 細いばちで皮の両面を打ちます。この楽器が、管絃全体の速度などをリードする、指揮者のような役割をしています。

★ひき物

楽琵琶… 雅楽で使われる琵琶は「楽琵琶」と呼ばれます。日本には、「平家琵琶」など、他の種類の琵琶もありますが、楽琵琶は日本の琵琶の中で最も大きい楽器で、1メートル以上の長さがあります。張られている弦は4本で、絹でできています。ツゲでできたばちで、分散和音のように鳴らします。

楽箏… 雅楽で使われる13弦のこ(箏)です。筑紫箏や生田流・山田流など、日本で使われている他のことと区別して「楽箏」と呼ばれます。弦は太く、竹の爪ではじいて演奏します。

★ふき物

竜笛… 指穴が七つある横笛です。竹でできていて、外側に藤などが巻かれることもあります。はなやかな高い音をもち、せん律を演奏したり、箏がふくせん律を飾る役割をしたりします。合奏では通常、曲の最初は竜笛がせん律をふきます。

箏… 2枚のリードをふるわせて音を出すところが、西洋の楽器オーボエと同じです。楽器本体は竹でできていて、うるしがぬられています。指穴は表に七つ、裏に二つあります。主にせん律を演奏します。

笙… 17本の竹の管の中から複数を同時に鳴らして和音を出します。管の下部にそれぞれリードが設置され、頭と呼ばれる部分でまとめられていて、奏者は頭のふき口へ息をふきこんだり逆に吸ったりして、リードをふるわせて音を出します。吸ってもふいても同じ音が出せるので、息つぎせずに同じ音をずっと鳴らし続けることができます。

雅楽には以上のように、打ち物(たいこの仲間)、ひき物(ことなど、弦をはじく楽器)、ふき物(笛の仲間)が使われています。

オーケストラに弦楽器・管楽器・打楽器が使われているのと似ていますね!

次は、オーケストラの楽器をおさらいしてみましょう。

2. オーケストラで使われる楽器

オーケストラは、^{げん}弦楽器・^{がっそう}管楽器・打楽器による合奏です。



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団（指揮 ^{かんげんがくだん} 垣内悠希）

指揮者の前に弦楽器, そのうしろに木管楽器, 金管楽器と並びますが,
演奏する曲や指揮者の考えなどによって, 演奏者の数や使う楽器が
変わりますし, 並び方にもいろいろな形があります。
主に使われる楽器には, 次のようなものがあります。

★弦楽器

バイオリン, ビオラ, チェロ, コントラバス
ほかに, ハープなどが使われることもあります。

★管楽器

木管楽器

フルート, オーボエ, クラリネット, ファゴット

ピッコロ(フルートの仲間), イングリッシュホルン(コール・アングレとも呼ばれる, オーボエの仲間), コントラファゴット(ファゴットの仲間), サクソフォーンなどが使われることもあります。

金管楽器

トランペット, ホルン, トロンボーン, チューバ

★打楽器

ティンパニ, 大だいこ, 小だいこ, 木きんや鉄きんの仲間

他にもトライアングル, タンブリンなど, 曲によってさまざまな楽器が使われます。

3. 雅楽^{が がく}とオーケストラを比べてみよう!

両方とも、いろいろな種類の楽器による合奏^{がっそう}です。

★使われている楽器を比べよう

	たいこの仲間	弦 ^{げん} をはった楽器	笛やらっぱの仲間
雅楽	打ち物	ひき物	ふき物
オーケストラ	打楽器	弦楽器	管楽器

比べるヒント

- ひき物と弦楽器の、奏法(音の出し方)を比べてみよう。
- ふき物と木管楽器の、音を出す仕組みを比べてみよう。
- 打ち物と打楽器の、それぞれの役割^{やくわり}について考えてみよう。

★他にもいろいろなことに注目して、雅楽をきいてみよう

- 音の重なり方
- リズム
- 全体のひびき